

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月21日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森本美希
レジメン名	トラスツズマブ【2回目】+ mFOLFOX6 (胃がん)		
疾患名	胃がん	適応の備考	CVポート
適応分類	進行再発		
1コース日数	21	日間	総コース数
		コース	催吐性リスク
中等度 トラスツズマブ単剤の時は最小度			

抗がん剤投与量・投与日 トラスツズマブ6mg/kg day1、オキサリプラチン85mg/m²day8、5-FU400mg/m²day8、5-FU2400mg/m²day8(46時間持続)

治療スケジュール・投与日(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●							●													
	中心静脈注射																								
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射	ブライミシング用																							
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	中心静脈注射	トラスツズマブ	6 mg / kg		●																				
		注射用水100mL	1 本 / body		●																				
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射																								
5	主ルート	グラニセロン注ハック 1mg/50mL	1 本 / body	30 分								●													
	中心静脈注射	デキサート注射液 6.6mg/2ml	1 本 / body									●													
		デキサート注射液 1.65mg/0.5mL	2 本 / body									●													
6	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間								●													
	中心静脈注射	オキサリプラチン	85 mg / m ²									●													
Rp6とRp7を同時に投与開始する。																									
7	側管	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間								●													
	中心静脈注射	レボホリナート	200 mg / m ²									●													
Rp6とRp7を同時に投与開始する。																									
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分								●													
	中心静脈注射	5-FU	400 mg / m ²									●													
9	主ルート	生食100mL	1 本 / body	46 時間								●													
	中心静脈注射	5-FU	2400 mg / m ²									●													
携帯型ディスプレイサブル注入ポンプ 希釈後の液量を総量140mLとなるよう調製																									
	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body										●	●	●										
分2 朝食後																									

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ2回目投与患者に使用する
トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg
トラスツズマブ:初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。
トラスツズマブ:次回以降予定投与が遅れた場合、1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。
トラスツズマブの投与間隔は3週毎、mFOLFOX6の投与間隔は2週毎に投与。
Rp6とRp7を同時に投与開始する。
day11のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる
day8のデキサート注は、6.6mgでもよい
デキサメタゾンを積極的に使用できない場合は、デキサメタゾンday9～11の代わりに5HT3拮抗薬day9～11を追加する
オキサリプラチン:希釈は5%ブドウ糖液のみ。
穿刺時に逆血を確認し、ポートの通過を確認すること